

マンション居住の高齢者支援をもっと強化を

中町ですすむ高齢化



高齢化率3割を超える市内の地域

	丁目	人口	地域内の集合住宅	高齢化率 (%)
1	美浜3丁目	1118		42.22
2	美浜4丁目	1268		38.41
3	弁天3丁目	1221	見明川住宅	35.54
4	弁天2丁目	1861		34.82
5	入船6丁目	2164	入船東エステート	34.20
6	入船5丁目	872	入船北エステート	33.94
7	舞浜2丁目	2016		33.93
8	入船2丁目	1952	入船西エステート	33.25
9	入船3丁目	1619	入船中央エステート	32.55
10	美浜5丁目	2332	美浜東エステート	32.08
11	富岡1丁目	908		31.39
12	今川4丁目	1159	今川団地	30.37
13	富岡3丁目	3377	サンコーポ浦安	30.23

(平成28年1月31日現在)

浦安市は平成22年度から「高齢者あんしんマンションライフ支援事業」を実施してきました。この事業は、「マンションに住む高齢者の孤立化を防ぎ、住み慣れた地域で安心して生活できる環境を確保する」ことを目的に、管理組合・自治会が「支援員」を配置する場合には、人件費・運営費の2分の1（上限80万円）を助成しますが、安否確認、サロンの開催を必須事業としています。集合住宅特有のコミュニティ形成の困難さを解消する狙いもあります。助成対象は26年度は「入船東エステート」「京成サンコーポ」の2団体に留まっていますが、27年度か

らはやっと「夢海の町」「潮音の町」も加わり、合計4団体となることを市は明らかにしました。一方、中町地域では、丁目の全体がまるごと集合住宅から成り、左表のように多くのマンションで高齢化率（65歳以上の割合）は30%を超えています。日本共産党は、マンションをサービスピ付き高齢者住宅とも言えるものにする必要があり、「市が支援員を養成し配置するくらいに心意気で推進するよう」提案しました。健康福祉部長は「地域で高齢者を見守ることを目的に実施している」「管理組合や自治会の自主性を尊重することが事業の継続や広がりにつながる、市は支援に回りたい」などと現状維持の答弁に留まりました。

「支援員」配置に助成

中町地域のマンションでは高齢化が急速に進んでいます。日本共産党は12月議会一般質問で、高齢者が住み慣れたマンションで安心して住み続けられるようにするための施策の充実を求めました。

週刊 日本共産党
市議会報告

2016年2月8日

第1357号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎ & FAX
350-1243



元木美奈子
市議会議員

入船4-37-14
☎355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



美勢 麻里
市議会議員

北栄
2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.